

## 頭頸部癌における CT・MRI 画像データを用いた最新の後処理技術の臨床応用に関する探索研究

### 1. 研究の対象

2008 年 4 月から最大で 2023 年 12 月 31 日までの間に、当院で頭頸部がん（上咽頭がん、中咽頭がん、口腔がん、喉頭がん、下咽頭がん、鼻腔・副鼻腔がん等）と診断され、CT や MRI 検査を受けられた方々の画像情報を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

研究実施期間：7 年間

#### （1）研究目的

本研究では、頭頸部がんの評価目的で撮像された CT や MRI 画像から最新の後処理技術によって新しい画像を作り出し、頭頸部がんの診断に役立つかどうかを明らかにすることを目的としています。

頭頸部に生じるがんは、全てのがんの約 5% を占めています。頭頸部は呼吸・食事（咀嚼・嚥下）などなど、人間が生きる上で必要な機能、さらに発声、味覚、聴覚など社会生活を送る上で重要な機能が集中し、手術、放射線治療、化学療法などを適切に組み合わせて治療が行われます。これらの治療方法を適切に決定するためには、CT などの画像検査によってがんの進展度を正確に診断することが必要です。

CT や MRI では新しい後処理技術（アプリケーションソフトウェア）が急速に進歩しており、撮影後の 3 次元データを使い後から様々な新しい画像を作成することが可能となりました。我々は、それらを有効に活用することで、頭頸部がんの進展範囲などをより正確に診断することができるのではないかと考えています。

#### （2）方法

頭頸部がんに対して撮影された CT や MRI 画像を用いて、複数の新しい後処理技術を組み合わせ新たな画像を作成し、頭頸部がんの腫瘍浸潤や転移などの診断能を調べます。結果的に手術治療が行われた患者さんに対しては、画像診断が病理診断とどの程度一致するのか併せて評価いたします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：CT と MRI 画像データ

情報：検査時年齢、性別、既往歴、病理診断報告書、治療方法、1 年間の臨床経過を含む診療録等の診療情報 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究は、外部への資料・情報の提供はありません。

## 5. 研究組織

本研究は当センター（国立がん研究センター東病院）において実施されます。

下記の機関の研究者が研究アドバイザーとして参加いたします。

キヤノンメディカルシステム	CT 開発部	主査	塚越伸介
キヤノンメディカルシステム	臨床アプリ研究開発部	主任	津島総

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者・研究責任者：久野 博文

国立がん研究センター東病院放射線診断科 医長

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

Tel: 04-7133-1111 (91311)

作成日：2020年06月26日 第1.2版